

会長の議員さんに突撃インタビュー（5）

ー河合雅俊山県市議（49期卒）の「山県市の歴史と美しい自然」ー

こんにちは、岐阜東高等学校同窓会会長の坂井至通（12期卒）です。今回は、岐阜県山県市役所に出向いて、山県市議会議員の河合雅俊氏（49期卒）に山県市の魅力についてインタビューして来ました。

1. 河合雅俊氏の略歴

河合雅俊（かわい まさとし）氏は、岐阜東高校 49 期の卒業生です。2024 年 04 月 28 日の山県市議会議員選挙に無所属で立候補し、初挑戦で見事当選されました。34 歳（男）の新人若手議員として、今後の御活躍が期待されています。山県市議会議員の任期は 4 年間で、職業はペンギン薬局で薬剤師として勤務し、学校薬剤師としても活躍されています。

2. 山県市の魅力は何でしょうか？

河合：私は岐阜市柳津町の生まれで、岐阜東高校を卒業して薬学系の大学に進み薬剤師になりました。現在は山県市に住んでいて、今回市議会議員に出馬しました。

坂井：これから、山県市のために色々な事業計画を作っていくのですね。

河合：山県市役所の近くには東海環状自動車の山県インターチェンジが出来、現在東濃地域の方面へは既に繋がっています。三重県の四日市市方面へはまだ少し時間が必要です。

坂井：東海環状自動車道が繋がると、岐阜・愛知・三重の主要地域との連携が深まる訳ですね。

河合：そうです。これまでの様に岐阜市の隣接地域だけに留まらず、各地域と環状線で繋がりが密になるので大変期待しています。

坂井：山県市は観光地としても魅力的な所が沢山ありますね。

河合：自然が豊かで、観光資源や農林畜産物も活用できるようにしたいと思っています。

坂井：そう言えば、山県市役所の近くには大桑城跡が残されていて、戦国時代の幕開けに活躍した斎藤道三や明智光秀に係る史跡も多いと聞いています。

河合：歴史的にも福井県越前の朝倉氏との関係も深く、もっと歴史的な価値も広めて行きたいと思っています。

坂井：では、少しずつ山県市の魅力を紹介していきましょう。

3. 国盗り物語の舞台!大桑城に戦国の興亡に想いを馳せる。

河合:山口市は岐阜市の北に隣接しており、山口市役所の近くには、大桑城(おおがじょう)があります。このお城は、鎌倉時代から戦国時代にかけて存在し、美濃国の守護であった土岐氏の重要な拠点でした。築城は、鎌倉時代に逸見義重が承久の乱(1221年)の功績で大桑郷を領地とし、その子の大桑又三郎が築いたとされています。



坂井:岐阜城と同じように山城ですね。

河合:1535年(天文4年)頃に、土岐氏は守護所を枝広館(現在の岐阜市長良)から標高408メートルの古城山(別名・金鶏山)の山頂付近に有った山城に大桑城を築きました。非常に堅固な城として名を馳せていました(山城として有名なのは金華山の岐阜城ですが、規模で言えば大桑城の方が大きかったようです)が、その土岐氏も斎藤道三によって追放されてしまいます。

坂井:私の大学生時代(昭和50年ころ)に司馬遼太郎の「国盗り物語」がNHK大河ドラマで放送されました。一気に岐阜市が全国ネットで知られるようになり、鶉飼観光客が急増したのを思い出します。

河合:最近では、「麒麟がくる」で再び美濃国が知られるようになりました。コロナ禍でもなんとか撮影が進み、大桑城はたびたび登場した重要な場所です。土岐氏は、美濃国を中心に勢力を広げ、鎌倉時代から戦国時代にかけて美濃国を支配して多くの支流を持つ名門一族です。室町時代には幕府と強い結びつき守護大名としての地位を確立していました。しかし内部の争いや外部勢力の介入により、次第にその力を失っていきました。

坂井:「国盗り物語」では、斎藤道三が主人公で、油売りから身を起こし、土岐氏の家臣として頭角を現しましたね。

河合：斎藤道三は土岐頼芸を支援し、美濃国の支配を巡る激しい争いになりました。これは、織田信秀（信長の父）や朝倉孝景、土岐頼芸が連合して、斎藤道三に対して起こした戦いです。加納口の戦い（1542年、天文11年）では斎藤道三に攻められ、土岐頼芸が一時的に城を離れましたが、尾張国の織田信秀の仲介で和睦して帰城しました。

坂井：そうですか。この頃はまだ岐阜城は出来ていませんでしたね。

河合：斎藤道三は再び大桑城の戦い（1547年）を起こし

土岐頼純は討死、土岐頼芸を再び追放して大桑城を攻め落とすことで道三は名実ともに美濃国の支配を確固たるものにしました。大桑城はその後廃城となり、現在では遺構が残るのみですが、土岐氏の歴史を物語る重要な遺跡として知られています。



坂井：美濃のママシ道三は娘の帰蝶（濃姫）を織田信長に嫁がせることで、織田信秀との同盟（1548年）を結びました。この結婚により、両家は強固な同盟関係を築き織田家の支援を受けて美濃国を平定しました。長男の斎藤義龍と信長は義理の兄弟関係にありましたが、長良川の戦い（1556年）では、義龍との間で戦いが起こり、義龍は道三の寵愛を受けた弟たちを殺害し道三に反旗を翻しました。最終的に義龍が勝利し、道三は討ち死にしました。この際、信長は道三を救援しようとしたのですが、間に合いませんでした。これは「国盗り物語」の続きですね。

河合：こうして義龍は美濃国の支配者となりましたが、彼もまた短命でありました。信長が上洛する際（1559年）、義龍は火縄銃の手勢を配置して信長の暗殺を謀りましたが、失敗に終わりました。義龍は信長の兄弟である織田信広や織田信勝と連絡を取り、信長の家督を揺るがそうとしましたが、これもまた成功しませんでした。その後、美濃国は織田信長の侵攻を受けることになります。

坂井：今も、大桑城から遠く金華山が見え、山頂に岐阜城がクッキリ聳え建っているそうですね。

河合：大桑城に登ってみると、道三が居城とした鷺山城が右下に少し垣間見えます。義龍とは長良川を挟んで戦いました。彼は信長のことを高く評価し、信長に美濃国を譲る遺言を残すなど、深い信頼関係がありました。信長の方も道三を「舅殿」と呼んで慕い、道三の戦略や経済政策（楽市楽座など）を取り入れ、天下統一（布武）への道を進みました。坂井：義龍を排して美濃を平定した信長に仕えたのが、明智光秀ですね。

河合: 光秀をめぐる伝説は全国各地に残っており、この山口市には、「光秀が生まれた地」と伝わる地区があります。また、山崎の合戦で秀吉に敗れ、坂本城を目指す途中に小栗栖の竹藪において竹槍で刺されて重傷を負い自刃したと言われています。しかし、家臣の荒木信行が身代わりとなり光秀は荒深小五郎と名乗り、美濃国中洞郷(山口市)に帰って住み「合戦後も生きていた」と言い伝えられています。



坂井: 私も先日、山口市にある桔梗塚に行って来ました。戦国武将・明智光秀にまつわる伝承が残る場所で、桔梗塚は、光秀の墓とされていました。河合: 地元の荒深氏一族によって大切に守られています。毎年、4月第2日曜日と12月第1日曜日に供養祭が行われています。また、桔梗塚の近くには「産湯の井戸」があります。これは、光秀の母が彼を産む際に使ったとされる井戸です。さらに、近くの行徳岩では、光秀の母が「たとえ三日でも天下を取る男子を」と祈ったと伝えられています。

坂井: この地域には、光秀が本能寺の変後に生き延びて隠れ住んでいたという伝説があるそうです。興味深い歴史が詰まった場所ですね。



明智光秀ゆかりの地 桔梗の道マップ

明智光秀と土岐氏ゆかりの地 山県市

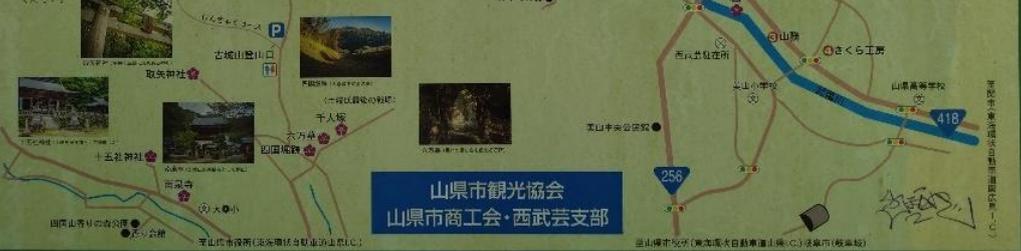
山県市中須地区には戦国武将明智光秀の山笠や晩年に関する伝承が残っています。この中須白山神社には光秀公の霊馬の舟(彫)と、山林の中には光秀公の墓と云われる桔梗塚があります。

また、山県市大森地区は、戦国時代に美濃国を中心に勢力を誇った土岐氏が居住し、舟楫道に誼教されるまで高古した歴史ロマンあふれる場所です。

土岐氏最後の居城であった古城山(大森城跡)山頂からは、岐阜城や濃尾平野を望めます。

〔大森城跡へのアクセス〕
はじかみ林道登山口まで車で約15分→ゆったりコースで山頂まで徒歩約30分。

※山笠となりまますので降りやすい服装、歩きやすい靴で参拝してください。



山県市観光協会
山県市商工会・西武芸支部

- 1 観光バス予約センター
観光バス予約センター
TEL: 0581-52-2205
- 2 COFFEE&REST
EIGHT
エイト
TEL: 0581-52-2010
- 3 お食事処
山務
TEL: 0581-52-2432
- 4 観光バス予約センター
さくら工房
TEL: 0581-52-1041



3. 美しい自然の伊自良湖は「恋人の聖地」に!

河合: 山県の市街地北西にある伊自良湖は、周囲約 2.4 キロメートルに 54 万トンの水量を湛えた美しい人造湖です。名古屋近郊から車でわずか 1 時間半というアクセスの良さもあり、多くのカップルや家族連れが訪れる定番スポットとして知られています。周囲は山々に囲まれ、春は湖畔の桜並木、夏は涼、秋は美しい紅葉、冬はワカサギ釣りとして 1 年中楽しめます。湖畔には約 4km の遊歩道やレストラン、みやげ店など、身近にリゾート気分を満喫できるスポットです。夏にはキャンプのほか、ヘラブナ釣りを楽しむこともできます。

坂井: 伊自良湖はワカサギ釣りのメッカとして知られていますね。

河合: 毎年 4 月、約 4000 万粒の卵が放流され、市民をはじめ市外からもたくさんの釣り客が訪れます。大人も子どももなごやかにワカサギフィッシングに興じる姿は、伊自良湖ならではの雰囲気を醸し出す冬の風景です。9 月の解禁日から春にかけて湖上は釣りボートでも賑わいます。そしてなんといっても伊自良湖のワカサギたちは、美しい自然に恵まれた生育環境とともに、外来魚(ブラックバスやブルーギルなど)が生息していないことから、大きく太く育つ(8~12cm)ことでも有名です。そのため、かかったときの手に伝わる引き具合も驚くほどです。湖畔にある施設の「ラブレイク」でボートが借りられ、ボートでの釣りや岸から誰でも気軽にワカサギ釣りを楽しむことができます。

坂井: 平成 28 年 1 月には伊自良湖が「恋人の聖地」に認定されたと聞きました。

河合: 「恋人の聖地」に認定され、3 月にはモニュメントが設置されていますので、ぜひ、伊自良湖に素敵な思い出をつくりに来てください。



一部山縣市ホームページ参照



坂井:「ラブレイク(伊自良農産物直売所)」という名のカフェレストランで、高山ラーメンが有りました。何故なのかチョット場違いかなと思いました。伊自良で獲れたお米で作った「フォー」を頂いてきました。

河合:2018年にリニューアルオープンしたばかりでとってもキレイな施設です。名前の由来は、伊自良湖が恋人の聖地に指定されたことをきっかけに公募した「ラブ(愛)+ブレイク(流行る)+レイク(湖)」から来る造語だそう。施設周辺には「恋する絵馬」を吊せる場所や、V字のカッ



ットがたくさんあります。店内に入ると、明るくシンプルな色調の中に、ラブを感じさせる赤色がいい感じのアクセントになったモダン空間が広がります。イサム・ノグチのテーブルなども配置され、とても居心地がいい空間となっています。

坂井:ここではお食事はもちろん、ワカサギ釣りの受付やお土産物も売っていたので、誰でも気軽に立ち寄ることが出来るようになっていきますね。前述した「恋する絵馬」もここで購入できる様です。

河合:伊自良湖は名古屋からも気軽に来れるし、何と言ってもやっぱりピンクラーメン&カレーなんかインパクトが有りますね!

坂井:ここには、甘南美寺(かんなみじ)が在り、釜ヶ谷山の登山口とも書いてありました。

河合:山県市の三山は、「舟伏山」・「釜ヶ谷山」・「相戸岳」の三つの山を指します。舟伏山(ふなふせやま):標高 1,030.3 メートルで、山県市の中で最も高い山です。春にはイワザクラやカタクリなどの山野草が見られ、登山者に人気があります。次の釜ヶ谷山(かまがたにやま)標高 696 メートルで、甘南美寺の奥の院にあた



る山です。登山道には 33 体の石仏があり、歴史と自然を楽しむことができます。そして相戸岳(あいどだけ)です。標高 671.7 メートルで、山頂からは 360 度のパノラマ展望が楽しめます。登山道は整備されており、初心者でも登りやすい山です。これらの山々は、それぞれ異なる魅力を持っており、登山や自然散策を楽しむのに最適です。



坂井: 甘南美寺は、岐阜県山県市長滝にある臨済宗妙心寺派の寺院となっていましたね。

河合: 山号は白華山で、本尊は千手観世音菩薩(秘仏)です。甘南美寺は、鎌倉時代に高阿弥と那智阿弥の夫婦が伊勢国で救世観音を授かり、現在の釜ヶ谷山頂に祀ったのが起源とされています。その後、天文年間に観音像が現在の長滝に移され、1571年に白華山甘南美寺として創建されました。この他にも東光寺という古いお寺があります。ここでも色々なイベントを行っています。

東光寺の近くには、地元で採れた野菜を販売している「てんこもり」という施設があります。また、直ぐ近くの「ハリヨ公園内(QRコード)」にはハリヨという日本の一部地域にしか生息し

ていないとても珍しい淡水魚が泳いでいます。トゲウオ科に属し、体長はおよそ 5~7cm ほどの小さな魚で、名前の通り、背びれや腹びれ、尻びれの前に、針の様な鋭いトゲ（背中に3本、おなかに2本、尻びれの前に1本）を持っています。特徴的なのは、冷たくきれいな湧き水がわく場所にしか住めないという点で、水温が 10~18℃の低温で安定している環境を好み、水草が生い茂る浅瀬にひっそりと暮らしています。



繁殖期になると、オスは体の色が青緑と朱色に変化し、また水草などを集めて巣を作ってメスを誘い、生んだ卵がかえるまで世話をするというユニークな行動も見られます。現在では滋賀県東部や岐阜県西南部など、限られた地域にしか自然分布しておらず、環境省のレッドリストで絶滅危惧 IA 類に指定されているほど、数が減ってしまいました。そのため、地域ぐるみで保護活動が行われています。湧水地の減少や川の汚染などさまざまな要因により、個体数が減少し環境省の絶滅危惧IA類にも選定されています。この魅力のあるハリヨを末永く守り続けて行きたいと思います。

4. 岐阜県山県市の有名なグルメや特産品が楽しめます。

河合：『利平栗(りへいぐり)』は、山県市の代表的な特産品で、

栗の王様とも称されるほどの高品質な栗です。栗スイーツや料理に使われ、秋の時期には特に人気があります。利平栗は、旧大桑村の土田健吉氏によってつくられた栗の品種です。健吉氏は、中国産の栗に負けない、大粒でおいしい栗を求めて研究を続け、中国産の栗と日本産の栗をかけ



あわせて新しい品種の開発に成功しました。この栗は、土田家に代々伝わる「利平治」(りへいじ)の名から「利平栗」と名づけられました。

坂井：そのままの栗の出荷はもちろん、ようかんや栗きんとんなどの和菓子も名物になっています。

河合：『桑の木豆(くわのきまめ)』は、地元で栽培される豆類で、飛騨・美濃伝統野菜に認定されています。イソフラボンやポリフェノールが多く含まれ、健康食品としても注目されています。



坂井：「桑の木豆」は桑の木に蔓を這わせて育てるインゲン類の豆で、さやのまま乾燥させて保存するのですね。

河合：料理に使う場合は、水で戻して調理します。料理によっては

さやごと食べる習慣があり、豆の食感はホクホクして、とても味わいがあります。また、お菓子にも合います。そして、健康にも大変良い食材です。さらに、『伊自良大実柿(いじらおおみがき)』は、世界でも岐阜県山県市に千本しかない渋柿の一種で唯一、山県市旧伊自良村の北部にしか存在しません。渋が大変強い分、干し柿にするととても甘くなり、伊自良地



では「連柿」と呼ばれる干し柿作りが盛んに行われています。柿を串とわらにより1連30個に編み上げます。1メートルほどの長さ

に連ねられた連柿を、農家の軒先につるします。初冬の日差しと寒風に

約1カ月さらすと、あめ色に変色し、甘味が凝縮され、特に迎春用の贈答品や縁起ものとして喜

ばれます。軒先が柿のオレンジ色で彩られるため、カメラマンに人気の高い被写体となっています。
甘くて美味しい柿で、地元の農産物直売所などで購入することができます。



坂井:柿は岐阜県でも本巣地域で「富有柿」が有名です。

河合:また、この柿を使って半世紀ぶりに『伊自良柿渋(いじらかししぶ)』が復活しました。昔から柿渋には、抗菌・消臭・防腐・防水・防虫などの効果があると言われ、布製品の染色に加え、木材への塗装にも昔から使われていました。優しい色合いを楽しむことができます。この連柿は、「岐阜・やまがた逸品」認定品として親しまれています。

5. 東海環状自動車道、山県インターチェンジの明るい未来!

坂井:山県インターチェンジ(やまがたインターチェンジ)は、岐阜県山県市にある東海環状自動車道のインターチェンジです。山県インターチェンジは、2020年3月20日に開通しました。また、2023年4月18日にはETC専用料金所に変更されましたので、ETC非搭載車は利用できません。さらに、山県インターチェンジから大野神戸インターチェンジまでの区間は、2024年度に開通予定で、養老IC~(仮称)北勢ICが2026年度開通予定となっています。これにより、周辺地域のアクセスがさらに向上し、経済活性化が期待されています。

河合:詳しくは、国土交通省岐阜国道事務所 HP、または工務課(連絡先:058-271-9814)までお問い合わせ下さい。東海環状自動車道の山県インターチェンジの開通は、山県市に以下のような経済効果をもたらすことが期待されています。物流の効率化が期待され、地域内のアクセスが向上し、人や物の輸送時間が短縮されます。これにより、物流コストが削減され、新たな価値創造につながる可能性があります。東海環状道の開通は、企業間の取引や往来時間の短縮に寄与し、企業誘致の促進に繋がると考えられています。特に、東名阪自動車道や伊勢湾岸自動車道との接続による港湾への所要時間短縮は、地域経済にとって大きな利点となります。企業の商圏拡大や、企業進出の増加による雇用創出が期



待されます。

坂井：山県市は「水栓バルブ発祥の地」として知られ、

約 100 社の水栓バルブ製造関連企業が集積していて国内屈指の生産地となっています。特に注目されているのが、マイクロナノバブルシャワーヘッドです。ネット情報では、このシャワーヘッドは、直径 0.1mm 以下の小さな気泡「マイクロナノバブル」を発生させることで、次の 3 つの効果を持っていると言われています。①洗浄効果：毛穴よりも小さい気泡が皮脂や汗を取り除きます。②保湿効果：肌の奥まで浸透し、潤いをキープします。③温浴効果：気泡が弾けるときに熱を発生し、身体を温めます。また、シャワーヘッドの中には「繊維状活性炭」や「ヤシガラ活性炭」が含まれており、水道水に残留する塩素を取り除き、髪や肌へのダメージを軽減すると言われています。

河合：山県市には、まだまだ企業発展の余地があります。

坂井：山県インターチェンジの産業への影響はこれからも期待できますね。もちろん観光の活性化もあります。観光客数の増加や、新たな観光ルートの開発による観光産業の拡大が見込まれます。地域の魅力が高まり、観光客の増加による経済効果が期待されます。また、定住促進も効果があります。山県市と名古屋市間の移動時間が短縮されることで、通勤者の増加や定住促進に寄与することが期待されます。これにより、地域の人口増加や活性化が見込まれます。

河合：これらの効果は、地域経済における様々な分野でのポジティブな変化をもたらし、山県市の経済発展に寄与すると考えられています。ただし、これらの効果を最大化するためには、地域連携や戦略的な取り組みが重要となります。ETC 専用インターチェンジの利用による交通のスムーズ化で周辺地域の安全性が向上し、山県インターチェンジ周辺での事故発生時の迅速な対応や、通行止めの解除など、道路の安全性向上にも寄与が期待されています。

6. おわりに

坂井：今日は長い時間を頂きとても有難うございました。隣接の岐阜市に住んでいながら、知らない事が一杯有りました。

河合：こちらこそ有難うございました。歴史的にも自然にも恵まれた山県市の魅力を皆さんに知って頂いて、多くの方に訪れて頂きたいと思います。

坂井：では、ご健勝で今後のご活躍を期待しております。

(記 坂井至通 12 期卒)